



福山高等学校

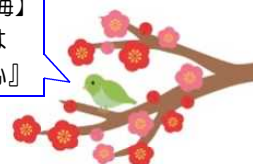
図書館便り

No. 9

(R2.1.24号)

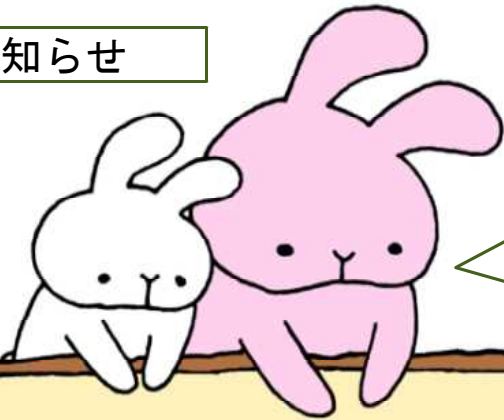
# Library News

1月の花【梅】  
花言葉は  
『澄んだ心』



寒い日が続きますが、体調を崩していませんか。インフルエンザが猛威を振るっています。気をつけましょう。寒いといえば、1月20日は一年で寒さが最も厳しいとされる二十四節気の一つ【大寒】でした。一年の最低気温もこの時期に記録されることが多いようですが、鹿児島県では最低気温が各地で平年を上回り、3月から4月並みとなったところもあって、少し暖かい大寒でした。私は知らなかったのですが、『大寒の日に産まれた卵を食べると健康になる』と言われていたそうです。一年で最も寒いと言われる大寒では、鶏たちも寒さに負けず栄養を蓄えようと普段より多く餌を食べるので、その栄養を蓄えた鶏が産んだ卵には栄養がたくさん入っているから健康にいい、という理由だそうです。他にも金柑や小松菜等のこの時期の旬の食材も寒さを乗り切るために食べるとよいとか。しっかり食べて、この寒さを乗り越えましょう！

## お知らせ



3年生のみなさん  
もうすぐ卒業ですね。  
本の読み残し、ありませんか？  
本の未返却、ありませんか？  
しっかり確認を！

3年生のみなさんへ  
貸出 : 1月31日(金)まで  
返却 : 2月 7日(金)

※ 受験対策や課題等で引き続き利用したい場合は、必ずその旨を司書に告げてください。この日以降は特別貸出となります。

## おすすめの1冊

福高図書館に近々お目見えする本の中から  
とっておきの1冊をご紹介します！

【Yahoo!ニュース 本屋大賞 2019年ノンフィクション本大賞 受賞本】

## 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ



大人の凝り固まった常識を、  
子どもは子どもなりのやり方で軽く飛び越えていく。

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」だった。ただでさえ思春期ってやつなのに、毎日が事件の連続だ。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり…。何が正しいのか。正しければ何でもいいのか。生きていくうえで本当に大切なことは何か。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子と パンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていく。連載中から熱狂的な感想が飛び交った、私的で普遍的な「親子の成長物語」。

(新潮社HPより)

### 2020年本屋大賞

ノミネート作はこちら！

- 『線は、僕を描く』 砥上 裕将
- 『店長がバカすぎて』 早見 和真
- 『夏物語』 川上 未映子
- 『熱源』 川越 宗一
- 『ノースライト』 横山 秀夫
- 『ムゲンのi』 知念 実希人
- 『流浪の月』 凧良 ゆう
- 『ライオンのおやつ』 小川 糸

## 2020年ノミネート作決定！

# 本屋大賞



Supported by **NOLTY PAGEM** 手帳ブランドNOLTY/PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。

『むかしむかしあるところに、死体がありました』 青柳 碧人

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢 沙呼 ※ 全作品が3月までに

## 連絡

そろそろ予定です。お楽しみに！

2月中旬から【蔵書点検】を行います。紛失本がないか、修理が必要な本はないか等の確認作業を行います。図書館の印鑑やバーコードがついている本をどこかで見かけたら、是非図書館まで連れてきてください。よろしくお願ひします。また、紛失してしまった本はありませんか。早めに連絡を！